第39回日本高齢者大会inおおさか・第34回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい東京実行委員会第４回会議(レジュメに会議内容加筆)

2026 年 9 月 15 日(木)14:00～16:30　南大塚地域文化創造館

本日の主な内容

- 情勢と各団体、地域の運動交流
- 第 39 回日本高齢者大会 in おおさか東京からの参加の取り組み意思統一
- 第 34 回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい企画進捗状況確認

1　各団体､地域の運動交流

＊　各団体、地域から、自治体要求運動、対都交渉、沖縄知事選応援、被災地支援など、旺盛な運動が紹介交流され、緊急の取り組みの呼びかけも行われた。

2　第 39 回日本高齢者大会の意義と現地参加の意味について

中央実行委員会からの参加の呼びかけ（ｐ６）と、参加組織の取り組み強化の訴え（ｐ７)、東京高齢期運動連絡会のニュース記事（ｐ８）を載せました。高齢者大会の意義、現地に参加することの意味について、再度議論しましょう。

3　「第 39 回日本高齢者大会 in おおさか」への東京からの参加

1）募集について（再）

（1） 参加要綱（ｐ10）
（2） 参加費の納入（p11 上）
（3） 東京実行委員会ツアー（ｐ11 下）
（4） 参加申込書（東京実行委員会ツアー）（ｐ12）
（5） 参加申込書（直接現地参加）（ｐ13）
（6） Web 衛星会場の設置・Web 個人接続（p14～15）
　公開可能な衛星会場は高連ニュース等で共有します。
（7） 移動分科会の参加申込（p16～18）
（8） 東京実委チラシ(別紙)

2）東京からの参加目標

（1） 東京としての参加人数の目標
　現地参加延べ 300 人以上をめざし、さらに Web 参加を大きく広げましょう。
（2） 東京実委として湯の花温泉 渓山閣に 100 人分の宿泊場所を確保しました。
（3） Web 衛星会場の設置を広く呼びかけ、全都で 200 人以上の Web 参加をめざしましょう。

３）参加組織

（1） まだ申し込みは始まったばかりです。現状別紙（ｐ９）

（2） 団体･地域で目標を持って参加を組織すること、カンパ、財政活動、団体からの援助なども行って、都内全地域から現地に代表を送ることを呼びかけます。参加組織の呼びかけに、これから大きく力をいれる必要があります。

（3） 事務局は地域を分担して呼びかけ集約を行っていきます。

（4） 都段階の団体から、ぜひ、ブロック、支部など各組織に参加の取り組みの要請を出して下さい。

４）団体、地域では運動と結合して参加組織を

（1） 各地域の自治体要求運動や高齢になっても安心して住み続けられる地域をつくる運動などを進め、運動の中で高齢者大会参加を誘い広げる。

（2） 各団体地域から運動や地域の実態をまとめて高齢者大会の各分科会に参加し、積極的に討論に参加していくことを相談し、それを通じて現地参加を広げる。

（3） 各団体が、団体未加入者を日本高齢者大会現地参加に誘うことや、地域に Web 衛星会場を作り、未加入者を会場に誘うことなどを通して。それぞれの団体の加入促進の取り組みに生かすなど、高齢者大会への参加を団体の組織強化に結びつける。

＊ 葛飾が現地参加目標10名、地域で衛星会場も設置予定、婦人民主クラブは宿泊は東京実委ツアーに合流、大会終了後に各地方の仲間と交流の場を持つするなど動きが始まっている。

＊ おおさか現地への参加組織に、かなり力を入れる必要がある。

＊ 団体が高齢者大会への参加組織をよびかける連絡を出すと、支部などは動きやすい。

＊A(実行委員会ツアーフル参加） B(現地参加のみ） だけでなく、新幹線・バス・宿泊・大会参加など細かく書ける申込書が必要。→ 事務局で作成することに決定。

５）財政

（1） 日本高齢者大会参加関係予算

収入	ツアー80人　直接30人で試算	
61000集金時差額*人数		81,966
東京実委費用500*(80+30)		110,000
合計東京実委費用		191,966
支出		
通信費	7月発送	29,085
	参加者発送	15,540
印刷費	東京チラシ	19,980
会議費	実委会場費	11,000
事務費	消耗品その他	30,000
オルグ等交通費		20,000
その他		10,000
支出合計		135,605
集金合計ー支出合計		56,361

4　第 34 回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい

1）目的・意義についての議論

（1） 東京のつどいは、高齢になっても安心して住み続けられる社会の実現をめざすことを基調として、それぞれの時期に重要なテーマを掲げて実施してきました。つどいをどのような課題を中心にどのようなテーマで行うか議論を深めましょう。

（2） 前回の東京のつどいは、三多摩地域を中心に実施し大きな成功を収めました。今回は、地域の運動との結合をより一層明確に位置付け、北区を中心とする 23 区北中部･城北地域の運動と連携して実施します。

（3） スローガン第 1 次案

メインスローガン

「高齢になっても安心して住み続けられる地域をつくろう」

サブスローガン

「憲法改悪･社会保障破壊ゆるさない･統一地方選挙で地域を変えよう」

＊ スローガンについては、実意で出された意見を踏まえて事務局で検討しまた実委にはかる

2）日時・会場

（1） 全体会会場：北とぴあ さくらホール（1,300 席）確保、利用料金払込済（2027 年 2 月 25 日開催)。

3）全体会企画

（1） 記念講師　落合恵子氏

＊決定

（2） 文化企画、北区高齢者集会に出演したグループのリードで、参加者全員の合唱
北区で準備中、

＊時間について検討する

（3） 地域からの報告

① 北区の平和の取り組み　15 分程度

② 再開発問題への取り組み　王子駅前の高層マンション 2 棟　10 分程度

（4） 医療･介護をめぐる深刻な情勢は、取り立てて別発言をするのではなく、基調報告の中に書きこみ、配布資料を準備する

（5） 改憲の策動、社会保障の破壊、という攻撃と対決する決起の場、直後に行われる一斉地方選挙へ向けての重要な意思統一の場と位置付け、そのために基調報告を重視する。早めに起案し、集団的に討議、全体会記念講演講師にも見せる。15 分程度（

4）講座・分科会企画

・ 以下の 4 つの講座･分科会をかため、コーディネート担当を分担する。コーディネート担当は、日程調整、会場確保、講師折衝、司会などの決定、指定発言組織などを進める。

・ 日程は、できるだけ 1 月末から 2 月 25 日前までの範囲で調整する。

・ 9 月中に、講座・分科会の概要を固める。→　つどいチラシ裏面に記載する。

（1） 第 1 講座　情勢学習　　暮らしや社会保障とつなげて情勢を学ぶという観点で学ぶ、
講師第 1 候補　長友薫輝さん　担当（　菅谷　）

（2） 第 1 分科会 「高齢になっても安心して住み続けられるまちづくり」なるべく多様な実践を、何人かの指定報告者から　担当（　山根　）

（3） 第 2 分科会 「高齢期の人権としての住まい」高齢者の住まいの問題について、現状と、各地の取り組みを、何人かの指定報告者から　担当（　森松　）
開催時期　2027 年 2 月 17 日　午後
開催場所　建設労働会館（東京土建北支部会館）3F 会議室
パネルディスカッション
基調報告・コーディネーター　全国借地借家連　細谷柴朗事務局長
パネラー（仮題）矢部広明　高齢者の終の棲家と住まい
岩山真一　高齢期の UR 団地のくらし
森松伸治　なんでも相談に寄せられる高齢者の住まいの問題

（4）移動分科会「北区の戦跡巡り」「ご健脚のかた」の注意書きを附けて 15 人定員で募集する。担当（　森松　）
移動分科会（北区戦跡めぐり）
開催時期：2027 年 3 月　日　13 時 30 分集合～16 時
集合場所：北区十条台 1-2-5　中央図書館前（王子駅からコミュニティーバスで 10 分）
コース：中央図書館前から明治通り滝野川三丁目バス停で解散
内容：かつての北区は基地の街だった（日本軍、在日米軍、自衛隊　3 っつの軍隊がいた町）
戦争には被害と加害の両面があります。爆弾が落ちたこと、爆弾を作る側の両者の視点で平和を考えます。
空襲とは何か、米軍基地があるという事がもたらすもの、王子野戦病院跡地や、軍事施設の広さをウォーキングで感じます。
明治から昭和、現代までの流れで戦争につながった国益第一の政策は、現代の戦争につながる経過を考えます。
参加者数：15 人（先着）
参加費：　　円
北区平和戦跡ガイド：森松伸治 現在、平和のための北区戦争展実行委員としても活動中

6）チラシ発行時期など

（1） 取り組みを効果的に集中させるため、11 月 11 日までは、日本高齢者大会参加組織に集中し、東京のつどいについては、各団体の協力体制づくりと告知にとどめる。

（2） 9 月末までに全体会記念講演講師の確定情報および具体化した分科会概要を網羅した「チラシ（確定版）」を作成する。

（3） 10 月中旬からの日本高齢者大会参加者へのしおり郵送に同封、高齢者大会終了後に団体、地域に一斉大量発送し、大阪での全国大会の力も生かして、2 月の本番に向けた宣伝、組織を展開する。

7）合同事務局打ち合わせ

（1） 北区高齢者集会実行委員会と東京実行委員会事務局の合同打合せを行い、実行委員会への提案準備と、実務の遂行にあたる。

＊ 次回 10 月 7 日（水）14:00～日本高連事務所

8）財政

（1） 10 月中に東京の集いについて予算を立てる

5 東京実行委員会の体制・会議

1）役員

実行委員長 （東京高齢期運動連絡会 千野律子）
事務局長 （東京高齢期運動連絡会 菅谷正見）
事務局次長 （北区高齢者集会実行委員会 森松伸治）
会計（東京高齢期運動連絡会 早川明好 工藤由一）
事務局体制 （東京高齢期運動連絡会事務局）＋
実行委員会には、東京高齢期運動連絡会未加盟団体にも参加を呼びかける

2）実行委員会の会議日程

第 5 回 日本高齢者大会直前の打合せ・東京のつどいの参加組織
10 月 29 日（木）14:00～予定していたが いのち まもる集会が 10/29 になったため、
＊ 10 月 19 日（月）14:00 に変更 会場未定
第 6 回 東京のつどいに向けての詳細打合せ
1 月 21 日（木）14:00～（南大塚地域文化創造館予定）
第 7 回 まとめ、年度替わり
3 月 11 日（木）14:00～（南大塚地域文化創造館予定）

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか・参加の呼びかけ
すべての都道府県・すべての団体から大阪へ

－　平和・くらし・人権を守る共同を広げ、いま、確かな一歩を　－

全国の高齢期運動に携わる仲間の皆さん。

2026 年 11 月 10 日から 11 日までの 2 日間、大阪国際会議場を主会場として「第 39 回日本高齢者大会 in おおさか」を開催します。

国際紛争が暗い影を落とすなか、国内では憲法 9 条をめぐる改憲の動きが強まり、大軍拡が推し進められています。医療や介護の負担増、物価高に届かない年金の実質減額など、高齢者の暮らしを支える社会保障の足元は揺らぎ、福島原発事故から 15 年を迎えた今年、教訓を省みない原発回帰の政策が強行されています。いま、私たちが直面している現実は容易なものではありません。

これに対して、全国各地の草の根からは「暮らしに安心を」「平和な社会を」という切実な声が上がり、「憲法守れ、戦争許すな」の行動は全国に広がるうねりとなっています。国連では高齢者の人権を守る条約作りの一歩が踏み出されつつあります。

日本高齢者大会は、時々の情勢を見据え、高齢期の尊厳と未来をひらく場として歩みを重ねてきました。

今年は、大会スローガン「まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう」サブスローガン「憲法改悪を許さず、平和・くらし・人権を守りぬく共同を広げよう」を掲げ、大阪の現地実行委員会の仲間が全力を挙げて準備を進めています。今年の大阪大会を成功させ、平和・くらし・人権を守り抜く共同の輪を、力強く全国へ広げていきましょう。

全国の仲間の皆さんに呼びかけます。

一、すべての団体、すべての都道府県から、現地大阪へ集まろう

今大会の現地参加目標は、2 日間延べ 3,000 人です。すべての都道府県連絡会、そして各中央団体から、一人でも多くの仲間を大阪の会場へ送り出しましょう。参加者派遣の具体的な話し合いと声がけを、ぜひ今から始めてください。

二、豊かな運動と知恵を「分科会」に持ち寄り、前進の力にしよう

大会には、人権宣言を日々の暮らしに活かす要求運動をはじめ、医療・介護、年金、公共交通、自治の課題など多面的な学習と議論の場を準備します。

日頃から地域で実践している、居場所づくりや相談活動、自治体要求運動、、憲法を守り平和と人権を守る行動などの経験と教訓を、ぜひ分科会へ持ち寄ってください。全国の仲間と交流し、議論を重ね、これからの運動を前進させる確かな知恵を持ち帰りましょう。

三、Web 参加を大いに広げ、各地に「衛星会場」を作り出そう

全体会のオンライン配信も行います。（講座・分科会についても検討中）地域の事務所や公民館などに独自の「Web 衛星会場」を積極的に作り、小集会として運営し、参加をおおいに広げてください。

紅葉の大阪で、そして全国の Web 会場で、皆さんと確かな決意を交わし合えることを楽しみにしています。困難な条件も乗り越えて、すべての都道府県から、日本高齢者大会参加の取り組みを開始されることを心より呼びかけます。

2026 年 6 月

第 39 回日本高齢者大会中央実行委員会

2026 年 9 月 1 日

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか中央実行委員会

実行委員長　岩崎 勇

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか　参加組織の強化を

いま、私たちの平和と暮らしは、かつてない岐路に立たされています。国際社会では大国が力にものを言わせ、国際法をないがしろにする動きが強まっています。日本でも 9 条改憲をねらう動きが強まり、大軍拡が進むもとで、医療、介護、社会保障が次々と切り縮められ、高齢者をはじめ多くの人々の尊厳ある暮らしが脅かされています。

こうした情勢のもとで、11 月 10 日・11 日、グランキューブ大阪に全国の運動を持ち寄り、語り合う第 39 回日本高齢者大会 in おおさかは、重要な意義をもつものになります。

各地の取り組みには、それぞれの知恵があり、悩みがあり、積み重ねてきた歴史があります。それを持ち寄り、顔を合わせて交流し、議論する。ここに現地参加のいちばんの値打ちがあります。多くの実践、世界の知識、たたかう仲間の息吹に近く触れる現地参加は、参加するものを鼓舞する大きな力があります。ぜひすべての地方、すべての団体から多くの仲間を現地大阪へ送り出して下さい。

同時に、現地に来られない方のために、そしてさらに参加のすそ野を地域に広げるために、Web 会場という選択肢もあります。福島や東京では、すでに Web 会場に人を集めて参加する取り組みが進んでいます。皆さんの地方・団体でも、現地への参加に最大の重点を置くとともに、Web 会場を設けての参加もご検討ください。

9 月 30 日が参加の第 1 次集約日です。この日まで多くの参加集約が全国から寄せられるよう、参加組織の強化にお力添え下さい。この情勢だからこそ、全国の知恵と経験を持ち寄る大会に、大きな力を結集するためご奮闘いただくことを心よりお願い致します。

以上

なぜいま、大阪に集うのか

11 月 10 日、11 日に、大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）で開かれる「第 39 回日本高齢者大会 in おおさかま」で、残り二か月となりました。毎年この大会を開き続けることの大切さ。そして、現地に足を運ぶことの意味を、あらためて考えたいと思います。

40 年の歩み

大会は 1987 年京都で始まりました。中曽根内閣が「戦後政治の総決算」を掲げ、老人医療費の負担が重くのしかかろうとしていたとき、4000 人の高齢者が自らの要求を掲げて立ち上がりました。「一人ぼっちの年よりをなくそう」「安心して暮らせる高齢期の保障を確立しよう」、このスローガンは、翌年の福島大会で採択された日本高齢者憲章に結実し、1996 年には名称も「日本高齢者大会」となりました。

2020 年、新型コロナウイルスの感染拡大によって開催そのものを一年延期しましたが、運動の灯は消えず、翌 2021 年にはオンライン形式で大会を再開、その後ふたたび現地開催へと歩みを戻し、2022 年の京都大会では、「日本高齢者人権宣言」が採択されました。日本高齢者大会は、一つの世代では成し遂げられない運動を、次の世代へ、次の地域へと 40 年にわたり手渡し続けてきた取り組みです。私たちがいま大阪に集うことは、この歩みに自分自身を連ねることでもあります。

今、声を上げるとき

骨太方針 2026 では、大軍拡と引き換えに社会保障を破壊、高額療養費制度の改悪、OTC 類似薬の一部保険外し、更に介護制度の大改悪、高齢者医療費窓口負担 3 割化が狙われ、年金は毎年目減りさせられています。世界の戦争の危機に便乗して憲法改定の発議に前のめりになっている政権の動きに、国会周辺から全国へと広がる若い世代を含めた反対の声がわき起こっています。

一方、国連では高齢者の権利を守るための国際条約を起草する政府間作業部会(IGWG)の実質的な議論が始まり、日本高齢者人権宣言を掲げてきた私たちの運動と、世界の高齢者運動とが呼応し始めています。国内での運動と、国連での議論を、大会の場でつなぎ合わせることができる。これは今年の大会の特徴のひとつです。

大会は、全国の貴重な活動とみんなの声を束ねる結節点

各地域、各団体は、それぞれの持ち場で懸命に運動を積み重ねています。しかし一つの地域、一つの団体だけでは見えない景色もあります。地域に根差した小さい粘り強い活動、他県での自治体交渉の実際、展開された学習会、要求に根差した運動で自治体政治を変えた経験、人々の心を動かした訴え・・高齢者大会の分科会でしか手に入らない、生きた経験と知恵があります。

大会は、その一年一年の実践を持ち寄り、確かめ合い、また地域に持ち帰る場です。全国から集まった仲間の存在を肌で感じることは、次の一年の運動を支える確信にもなります。

「ひとりぼっちをなくそう」は、人のためならず

この大会が長年掲げてきた「ひとりぼっちの高齢者をなくそう」というスローガンは、実は参加者自身にもそのまま当てはまります。現地で誰かと肩を並べて話を聞き、仲間と泊まり、同じ歌を歌う。そうした時間そのものが、日々の暮らしの中に元気と生きがいを取り戻す力になります。

多くの実践に触れ、世界の高齢者運動の知識に出会い、たたかう仲間と出会う。その経験は、参加した本人を確実に励まします。大会に参加することは、誰かのためだけでなく、自分自身の暮らしと人生を豊かにすることでもあるのです。

ぜひ、大阪で会いましょう

歴史の重み、情勢の緊張、運動の連帯、そして参加者ひとりひとりの実り。そのどれもが、二か月後の大阪に集約されます。ぜひ現地の会場で、この大会を一緒につくる一員になってください。大阪でお会いできることを、心から楽しみにしています。

大会の詳細な内容は、【東京実委ホームページ】　https://x.gd/taikai　をご覧ください。申し込み用紙もダウンロードできます。申し込みの第 1 次締め切りは 9 月 30 日です。

東京高齢期運動連絡会

2026/9/17

地域	愛知	申込	のべ	W目標
葛飾区	11			
世田谷区	5			
北区	5			
板橋区	4	1	1	
江東区	3			
文京区	2	1	2	
渋谷区	2			
豊島区	2			
港区	1			
新宿区	1			
台東区	1			
目黒区	1			12
荒川区	1	1	2	
練馬区	1			
足立区	1			
千代田区	0			
中央区	0			
墨田区	0			
品川区	0			
大田区	0			
中野区	0			
杉並区	0			
江戸川区	0			
	愛知	申込		W目標
立川市	11			
府中市	6			
昭島市	3			
調布市	3			
国分寺市	3			
八王子市	2			
小金井市	2	2	4	
小平市	2			
清瀬市	2			15
あきる野市	2	1	2	
日の出町	2			
日野市	1			
東村山市	1			
多摩市	1			40
武蔵野市	0			
三鷹市	0			
青梅市	0			
町田市	0			
国立市	0			
福生市	0			
狛江市	0			
東大和市	0			
東久留米市	0			
武蔵村山市	0			
稲城市	0			
羽村市	0			
西東京市	0			
瑞穂町	0			
檜原村	0			
奥多摩町	0			
大島町	0			
利島村	0			
新島村	0			
神津島村	0			
三宅村	0			
御蔵島村	0			
八丈町	0			
青ヶ島村	0			
小笠原村	0			

団体名	愛知	申込	のべ	W目標
葛飾高齢者懇談会	14			
婦人民主クラブ	7			
府中高齢期連絡会	6			
立川高齢期・連絡会	6			
年金者組合東京都本部	5	1	2	
東京ほくと医療生協	4			
建交労東京都本部	4			
三多摩健康友の会国分寺支部	3			
世田谷区健康友の会	3			
東京保健OB会	3	3	5	
三多摩健康友の会	3			
東京社会保障推進協議会	2			
年金者組合昭島支部	2			
国公退職連	2			
都退協・目黒	2			
年金者組合目黒支部				12
昭島健康友の会	2			
東京民医連退職者の会	0			
年金・小金井支部	2	2	4	
豊かな老後をめざす調布の会	2			
健生会	2			
年金・世田谷支部	2			
年金者組合小平支部	2			
三多摩健康友の会日野支部	1			
気象春秋会	1			
年金者板橋支部	1			
年金者組合千代田支部	1			
江東・高齢者大会実行委員会	1			
西都保健生活協同組合清瀬東支部	1			
年金者組合清瀬支部	1			15
年金者組合多摩支部	1			40
年金・八王子支部	1			
板橋区職・退職者会	1			
東京民医連				
高連事務局	2	1	2	
合計	90	7	13	67

地域	愛知	申込	のべ	W目標
さいたま市中央区	1			
さいたま市緑区	1			
春日部市	1			
川口市	1			
所沢市	1			
比企郡吉見町	1			
松戸市	1			
鎌ケ谷市	1			
狭山市		1	2	
合計	90	7	13	67

2026年7月7日

第39回日本高齢者大会・第34回ゆたかな
高齢期をめざす東京のつどい東京実行委員会

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか　参加要綱

1　**第 39 回日本高齢者大会 in おおさか　基本内容**

1）メインスローガン　まちから村からの連帯で　ひとりぼっちの高齢者をなくそう
　サブスローガン　　憲法改悪を許さず、平和・くらし・人権を守りぬく共同を広げよう

2）主　催　第 39 回日本高齢者大会 in おおさか 中央実行委員会・現地実行委員会

3）日時会場　11 月 10 日（火）講座・分科会　13:00～16:30 大阪府立国際会議場
　夜の交流会　18:00～20:00 大阪グリーン会館
　移動分科会は申込書参照
　11 月 11 日（水）全体会　大阪府立国際会議場 5 階メインホール
　開場 9：30　開会 10：30　閉会 12：30

4）参加費

（A）実行委員会ツアー：61,000 円（参加費・往復新幹線・宿泊・バス・10 日弁当代含）

（B）直接現地参加：参加費 2 日間 5,000 円　1 日 2,500 円（交通・宿泊各自確保）

（C）Web 会場・（D）個人 Web 参加：参加費 2 日間 2,000 円　1 日 1,000 円

2　**申込**　9/30 第 1 次集約　10/31 最終締切　現地参加のみ締切後は現地受付。Web 参加は締め切り後は受け付けられません。

（1）地域・団体でまとめ、申込用紙に記入しＦＡＸまたはメールで事務局に送ってください。

（2）しおりなどの資料を送るため、住所・氏名は、間違いのないように、はっきり書いて下さい。

（3）用紙が複数の場合は合計金額は 1 枚ごとの合計を記入（振り込みは一括で OK です）

（4）FAX で申し込む場合は、**03-5956-8782** へお願いします。

（5）メールの場合は、**koureishataikai.sanka@gmail.com** に、送って下さい

（6）Web 参加の場合は、**必ずメールで**申し込んで下さい。（Web 参加の資料を参照）

3　**参加の仕方**

（1）参加を申し込まれた地域・団体・個人に、しおり（高齢者大会の内容が書かれたパンフレット）そのほか参加に必要な資料を、1次集約分は10月上旬に、以後の申込分は順次発送します。

（2）講座・分科会の参加希望は取りません。希望の教室が満席の場合は、他に参加して下さい。

（3）Web参加される地域・団体・個人にリンクをメールでお伝えします。11月10日に接続する場合は、視聴する講座・分科会名をお知らせください。

4　**参加費の支払い**：郵便振替にて下記の口座までご入金ください。（だれの参加費か分かるように、団体名・個人の場合は参加者名を正確に記載して送金して下さい）

（口座記号・番号）００１９０－０－６０２４６２　日本高齢者大会東京実行委員会

（昨年と違う口座なので気をつけて下さい）

5　移動分科会申込：移動分科会申込用紙で、**10 月１日から１０月９日正午までの間に**、東京実行委員会に **FAX** で申し込んで下さい。定員を越えた場合は抽選、申し込みが少ない場合は、中止することもあります。申込先 FAX 番号は、**03-5956-8782** です。

【東京実委ホームページ】　https://x.gd/taikai

＜問い合わせ先＞　東京高齢期運動連絡会　**koureishataikai.sanka@gmail.com**
TEL:03-5956-8781　　FAX:03-5956-8782

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか 参加費納入について

下記のいずれかの方法で払い込んでください。

１）払込取扱票を使って払い込む

① ゆうちょの窓口（現金）　（手数料 5 万円未満 203 円・5 万円以上 417 円）

② ゆうちょ ATM　　（手数料 5 万円未満 152 円・5 万円以上 366 円）

２）ゆうちょ口座から払い込む

① ゆうちょ ATM（通帳・カード）　（手数料 5 万円未満 152 円・5 万円以上 366 円）

② ゆうちょダイレクトに加入している場合は、ゆうちょダイレクトを利用すると、月5回まで無料、6 回目以降は 1 回 100 円です（無料回数はゆうちょ通帳アプリとの合算）

３）ゆうちょ振替口座 記号番号：００１９０－０－６０２４６２

口座名：日本高齢者大会東京実行委員会

４）他の金融機関から振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）　店名：〇一九（ゼロイチキュウ）店（店番 019）

預金種目：当座　　口座番号：0602462

口座名義：日本高齢者大会東京実行委員会

※振込手数料は各金融機関所定の料金をご確認ください。

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか 東京実行委員会ツアー概要

（詳細については、後日申し込まれた参加者に資料を送ります）

※　東京実行委員会ツアーは **10 月 31 日申し込み締切**です。

11 月 10 日(火)

申込者には事前に乗車券等を郵送します。
券面をよく確認のうえ、各自直接指定の
のぞみ号に乗車してください。
東京発 8:30～9:00 前後発の のぞみ号（品川、新横浜から乗車可）
車中昼食弁当あり
11 時台に新大阪着　各自公共交通機関で大阪府立国際会議場（講座･分科会会場）へ
13 時～日本高齢者大会　学習講座・分科会・移動分科会(13:30～)参加
終了後貸切バスで、ホテルへ　夕食（　東京からの参加者の交流会を兼ねて　）
宿泊　湯の花温泉渓山閣　〒621-0033 京都府亀岡市ひえ田野町佐伯下峠２０-６
　　電話 0771-22-0250 ・ 0120-417-004

11 月 11 日(水)

ホテル朝食　朝食後　貸切バスで、大阪府立国際会議場へ
9:30 開場　10:30 全体会参加　終了後各自公共交通機関で新大阪へ
新大阪 17 時前後ののぞみ号　東京着 19 時半前後着
帰りの新幹線チケットは、座席指定の時刻に乗車しない場合、発車時刻前に窓口で手続きすれば、翌 12 日(木)まで 1 回だけ別ののぞみ号指定席に変更できます。
ツアー費用　1 人あたり 61,000 円　・新幹線往復料金・貸切バス代・宿泊代（1 泊 2 食）
1 日目昼食弁当代・大会参加費 5000 円を含む

公共交通機関の路線、時刻表等詳細は参加される方への資料郵送時にお知らせします。

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか ・ 東京実委ツアー参加申込書

★地域・団体名（　　）★担当者名（　　）　★申込日（　　月　　日）

★担当者連絡先（電話　　）★（ＦＡＸ　　）★送金予定日（　　月　　日）

★担当者連絡用メールアドレス

↓どちらかに○　　個人宅の場合は○○様方まで

★資料送付は（ 団体一括 ・ 個人別 ）→ 団体宛資料郵送先（　　）← お書きください

★費用納入は（ 団体一括 ・ 個人別 ）合計金額 61,000 円/人×（人数　　人）＝（合計　　円）

	フリガナ 氏 名	性別	郵便番号	住 所	携帯電話 自宅電話	参加者の事故急病等のときの緊急連絡先	費用
1							
2							
3							
4							
5							

FAX送信時には裏表を間違えないように!!

① 第１次集約 ９月 30 日(水) 最終締め切り 10 月 31 日(土)
② 参加費用は、郵便振替で納入して下さい。
③ 振込先　郵便振替（口座記号・番号）００１９０－０－６０２４６２　日本高齢者大会東京実行委員会
④ 資料を郵送しますので、必ずひとりひとりの住所を、わかりやすい字で、はっきりお書き下さい。
※ メール添付は、koureishataikai.sanka@gmail.com へ、ＦＡＸは、03-5956-8782 へ（問い合わせ電話は 03-5956-8781）

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか　直接現地参加申込書　（交通・宿泊は各自手配）

★地域・団体名（　　）★担当者名（　　）　★申込日（　　月　　日）

★担当者連絡先（電話　　）★（ＦＡＸ　　）★送金予定日（　　月　　日）

★担当者連絡用メールアドレス

↓どちらかに○

★資料送付は（ 団体一括・個人別 ）→　団体宛資料郵送先（　　）← お書きください

個人宅の場合は○○様方まで

★費用納入は（ 団体一括・個人別 ）2日間参加 5,000 円（　　人）　1日参加 2,500 円（　　人）（合計　　円）

	フリガナ 氏 名	郵便番号	住　所	携帯電話 自宅電話	参加者の事故急病等のときの緊急連絡先	参加日に○ 11/10	 11/11	費用
1								
2								
3								
4								
5								

ＦＡＸ送信時には裏表を間違えないように!!

① 第 1 次集約 9 月 30 日(水) 第 2 次集約 10 月 31 日(土)　以降現地で受付。
② 参加費用は、郵便振替で納入して下さい。
③ 振込先　郵便振替（口座記号・番号）００１９０－０－６０２４６２　日本高齢者大会東京実行委員会
④ 資料を郵送しますので、必ずひとりひとりの住所を、わかりやすい字で、はっきりお書き下さい。
※ メール添付は、koureishataikai.sanka@gmail.com へ、ＦＡＸは、03-5956-8782 へ（問い合わせ電話は 03-5956-8781）

2026年７月７日

第３９回日本高齢者大会・第３４回ゆたかな
高齢期をめざす東京のつどい東京実行委員会

第 39 回日本高齢者大会 in おおさか
Web 接続・衛星会場づくりのよびかけ

東京実行委員会は、すべての団体、地域から現地大阪に参加者を送り出す取り組みを呼びかけています。同時に、現地には参加できないが大会に参加したいという方のために、現地大阪への代表団派遣の取り組みと並行して、団体、地域に Web 衛星会場を設け、多くの仲間が参加できる体制をとることを呼びかけます。また、個人での Web 参加も受け付けます。

１　全体会といくつかの講座、分科会を配信

11月10日講座、分科会の一部、および　11月11日全体会がオンライン配信されます。配信される講座、分科会はチラシやリーフレットで確認してください。

２　団体・地域でWeb会場をひらきましょう

Web会場の設置が決まったら、**【高齢者大会Web会場設置】**と明記して、以下の内容を東京高齢期運動連絡会にメールでお知らせください。データなどはご連絡いただいたアドレスに返信します。

受付はメールのみです。現地参加の受付用紙は使いません。申し込みを受けたら実行委員会から受付確認メールを送ります。

①団体または地域名
②会場名
③実施日,（10日の場合は講座、分科会名も）
④参加目標人数
⑤Web会場担当者名
⑥資料受け取り住所（個人宅の場合は　氏名まで）
⑦大会しおり等資料請求数

＊資料請求数は参加目標人数に余裕をもって申し込んでください。余った資料の返却は不要です。
＊参加費は、会場ごとに集金して東京実委にご送金ください。
＊参加費は**1日1,000円/人　2日間2,000円/人です。**

３　個人でWeb参加も受け付けます

個人でWeb接続する場合は、**【高齢者大会個人Web接続】**と明記して、以下の内容を東京高齢期運動連絡会にメールでお知らせください。

受付はメールのみです。現地参加の受付用紙は使いません。申し込みを受けた

ら実行委員会から受付確認メールを送ります。

①氏名

②住所

③接続する日は、11月10日か、11月11日か

④10日の場合は接続する講座、分科会名

＊登録いただいた住所に大会しおりなどの資料を郵送します。

＊参加費は**1日1,000円/人　2日間2,000円/人**

4　Web衛星会場及び個別Web接続受付期間

第1次集約　　9月30日（水）

最終締切　　10月31日(土)

＊資料の郵送などに時間がかかるため、締切以降の受付は行いません。

5　配信のためのリンク

配信のためのリンクのアドレスは、大会直前にPDFファイルで、メールに添付して、申し込みいただいたアドレスに送ります。

6　前日・当日は対応不能

11月9日（大会前日）～11月11日（大会終了）の間は事務局が現地の運営に参加するため、問い合わせなどには対応できません。

7　連絡先　東京高齢期運動連絡会

申し込み用アドレス　koureishataikai.sanka@gmail.com

大会用ホームページ　**https://x.gd/taikai**

※FAXで　03-5956-8782（東京実行委員会）へ送ってください

申込期間
（10/1～10/9正午）

第39回日本高齢者大会inおおさか　移動分科会申込書

①　大阪城公園と周辺の戦争遺跡を探訪する

定員20人

・定員を超えた場合、抽選になります。
・申込が最少催行数に達しない場合中止とすることがあります。

・大会参加費とは別に、交通費・資料代などが必要になります。
・集合場所・時間など詳しくは後日「参加のしおり」でお知らせします。

団体名		
申込責任者		電話
団体住所		
団体連絡先	TEL（　　）　fax（　　）	

	（フリガナ） 氏　　名	当日連絡先（携帯）	住所・連絡先・電話
①			〒
②			〒
③			〒
④			〒
⑤			〒
⑥			〒
⑦			〒
⑧			〒
⑨			〒
⑩			〒

・申込書に記入し、このままFAXで申し込んでください。
・個人情報は、移動分科会企画のため使用し、他に使用しません。

※中央実行委員会使用欄

※FAXで　03-5956-8782（東京実行委員会）へ送ってください

申込期間
（10/1～10/9正午）

第39回日本高齢者大会inおおさか　移動分科会申込書

②　大阪生野区コリアタウンで多文化共生のあゆみを学ぶ

定員20人

・定員を超えた場合、抽選になります。
・申込が最少催行数に達しない場合中止とすることがあります。

・大会参加費とは別に、交通費・資料代などが必要になります。
・集合場所・時間など詳しくは後日「参加のしおり」でお知らせします。

団体名			
申込責任者		電話	
団体住所			
団体連絡先	TEL（　　）　fax（　　）		

	（フリガナ） 氏　　名	当日連絡先（携帯）	住所・連絡先　携帯電話
①			〒
②			〒
③			〒
④			〒
⑤			〒
⑥			〒
⑦			〒
⑧			〒
⑨			〒
⑩			〒

・申込書に記入し、このままFAXで申し込んでください。
・個人情報は、移動分科会企画のため使用し、他に使用しません。

※中央実行委員会使用欄

※FAXで 03-5956-8782（東京実行委員会）へ送ってください

申込期間
（10/1～10/9正午）

第39回日本高齢者大会inおおさか 移動分科会申込書

③ 幕末から近代へ
中之島・北浜界隈に、経済と文化の跡を探ねる

定員20人

・定員を超えた場合、抽選になります。
・申込が最少催行数に達しない場合中止とすることがあります。

・大会参加費とは別に、交通費・資料代などが必要になります。
・集合場所・時間など詳しくは後日「参加のしおり」でお知らせします。

団体名		
申込責任者		電話
団体住所		
団体連絡先	TEL（　　） fax（　　）	

	（フリガナ） 氏　　名	当日連絡先（携帯）	住所・連絡先
①			〒
②			〒
③			〒
④			〒
⑤			〒
⑥			〒
⑦			〒
⑧			〒
⑨			〒
⑩			〒

・申込書に記入し、このままFAXで申し込んでください。
・個人情報は、移動分科会企画のため使用し、他に使用しません。

※中央実行委員会使用欄